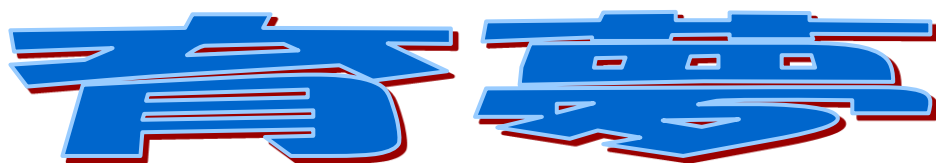


は ぐ く む



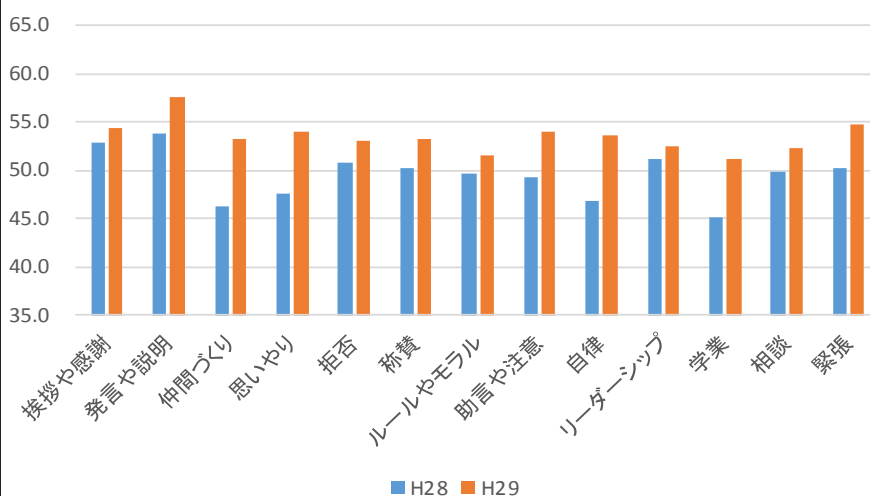
深く考える子 思いやりのある子 強くたくましい子

平成 29 年 9 月 14 日 (木)

1 「ほっと」から見える子どもの変容

「ほっと」とは？

子どもたちのコミュニケーションスキルを測定し、児童理解を深める質問紙調査法です。コミュニケーションスキルを13要素に分類し、子どもの得意、不得意を理解し、今後の教育活動を進める上での資料となるものです。



昨年度との比較 (赤字は本校重点項目)

13の要素	H28	H29	差
1 挨拶や感謝	52.9	54.3	1.4
2 発言や説明	53.8	57.6	3.8
3 仲間づくり	46.3	53.2	7.0
4 思いやり	47.7	54.1	6.4
5 拒否	50.8	53.1	2.3
6 称賛	50.3	53.2	2.9
7 ルールやモラル	49.7	51.6	1.9
8 助言や注意	49.3	54.0	4.7
9 自律	46.9	53.6	6.7
10 リーダーシップ	51.2	52.4	1.2
11 学業	45.1	51.2	6.1
12 相談	49.9	52.3	2.4
13 緊張	50.3	54.7	4.4

全学級のポイントを平均して示しました。全ての項目でポイントが前年度よりもアップしています。

「挨拶や感謝」は、朝、帰りの玄関前の出迎え、見送りに継続して取り組んでいる成果としてとらえています。また、「仲間づくり」や「思いやり」は、授業改善の一環として取り組んでいる子ども同士の話し合い活動を取り入れた学習法の成果が出てきました。「緊張」がアップしているのは、学校の雰囲気により、緊張せずに（自分を出して）生活できている現れです。（13の要素の説明は裏面・資料をご覧ください）

2 改善を促した要因

全体的に改善した要因として考えられる本校の取り組みを紹介します。

日常的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・全校遊び（教職員による寄り添い活動） ・なかよし班での活動（縦割り清掃など） ・子どもたちへのあたたかい声かけ ・学習サポート（隙間時間の活用） ・出迎え・見送りの取り組み ・一人一人に合わせた個別指導、対応
教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談 ・寄り添いタイム
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各種通信による教育活動の呼びかけ ・家庭との連絡、相談

今後も、子どもと寄り添う姿勢を第一に教育活動を推進してまいります。

育み環境

～校舎内の環境で子どもの育ちをサポートしています



活動の様子、学習の軌跡、生き物の飼育、健康管理、食生活の充実、子どもたちに関わる人たちの紹介などの掲示を通して、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちの成長を目指しています。

〔資料〕「ほっと」におけるコミュニケーションスキルの13の要素

13要素	略称	要素の説明	項目分類
挨拶や感謝	礼儀	挨拶や「してもらったこと」への感謝ができるか。	対人関係基
発言や説明	表明	意見や欲求を主張できるか。	
仲間づくり	参加	対人参加や、仲間と協調することができるか。	
思いやり	配慮	相手への配慮や親切、援助ができるか。	
拒否	拒否	断ることや、他者からの無理な働きかけに「やめて」と言うことができるか。	集団維持関連項目
称賛	称賛	相手をほめたり、喜ばせたりすることができるか。	
ルールやモラル	遵守	規則や秩序を維持したり、不適切な行為を謝罪したりできるか。	
助言や注意	忠告	社会的な望ましさを促進する働きかけができるか。	
自律	自律	協調性や我慢などの自律的な行動ができるか。	
リーダーシップ	率先	集団をまとめることなど、リーダーシップ行動ができるか。	項目相談
学業	学業	学習に関連した望ましい行動ができるか。	
相談	相談	相談や自己開示ができるか。	
緊張	緊張	緊張や不安によって話せなくなることがあるか。	緊張

※9月、10月は、英語、道徳、楽しく分かる授業の充実のため、先生方の出張が多いです。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解ください。

